

マーケットの動き（2020年11月9日～11月13日）

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

新型コロナウイルスワクチンの開発進展報道を受け、経済活動正常化への期待感から上昇しました。

一方、米国に比べて出遅れていた欧州は、米国を上回る上昇となりました。

投資環境見通し（2020年11月）

米国では政治イベント終了後、緩やかな上昇基調、欧州では感染再拡大から上値の重い展開

米国：大統領・議会選挙の後には経済対策が策定・実施されるとみえますが、開票の遅れや結果を巡る法廷闘争への発展など、一時的な混乱も警戒されています。選挙後の株式相場に対しては、引き続き慎重な見方が広がっています。ただし、各国中央銀行による緩和的な金融政策の継続と潤沢な流動性供給の元で、企業の構造改革などによる自律的な業績改善が続くことから、政治イベントが落ち着いた後は緩やかな上昇基調になると予想しています。

欧州：新型コロナウイルスの感染再拡大が続き、各国で経済活動制限強化の動きがあり実体経済への影響が表面化するとみられることから、当面の株式相場は上値の重い展開を予想しています。

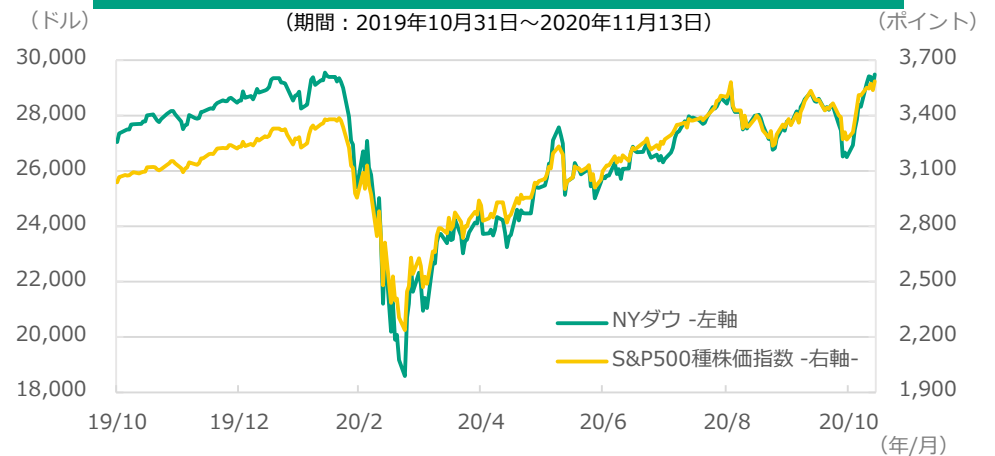
	11月13日	騰落率			
		前週比	1ヵ月前比	6ヵ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	3,585.15	2.16%	2.08%	27.13%	15.87%
NYダウ	29,479.81	4.08%	2.79%	26.81%	6.11%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202011_outlook.pdf

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2019年10月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>